編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
107-137	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅱ・038-901	書Ⅱ		

1. 編修の基本方針

みんなで書道を楽しもう。



書道が得意な生徒もそうでない生徒も、全ての高校生が書に愛着をもち、
「自分の書」を広げることができる教科書をめざし、次の点を柱に編修しました。

感じる　鑑賞・臨書教材では、原跡に迫る高精細な図版を掲載しています。「本物」から感じ取ることのできる書の真髄は、生徒の感性を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばします。

学ぶ　古典がもつ個性豊かな表情を味わいながら学習できる構成をめざしました。学びやすさを追求し、達成感をもって取り組める構成は、生徒の主体的な学習姿勢を育成します。

考える　生徒が古典や名筆の鑑賞や臨書に基づいた表現を自ら工夫し、推敲を重ねながら、個性的な書の表現や構成美について考え、理解を深めます。

特色 1

書道が好きになる

楽しく学べる教科書をめざし、書を身近に感じられる教材を取り上げ、生徒が主体的に学ぶことで自分の書に向き合えるように構成しました。

特色 2

個性豊かな表現と鑑賞の力を伸ばす

「書道Ⅰ」で培った能力を基礎とし、厳選された古典教材を学習することにより、表現力と鑑賞力を相乗的に培いながら自己表現へと展開できる内容をめざしました。

特色 3

書文化への関心を高める

書の伝統と文化について、さまざまな角度からアプローチすることで、その理解を深めて文化に親しみ、次世代へ継承していく態度を育成することをめざしました。

特色 1 書道が好きになる

原跡に迫る高精細な図版

「本物」にこだわった教材で、生徒の感性を高めます。

古典・古筆は、生徒の感性を高める大切な教材であるため、極めて鮮明で臨場感あふれる高精細の図版を掲載しています。さらに、巻子本や剪装本、軸装など、書かれた状態そのままを掲載し、教材の価値を高めるよう追求しました。色調においても実物との校正を繰り返し、原跡に近づくよう追求しました。



p.38-39「祭姪文稿」



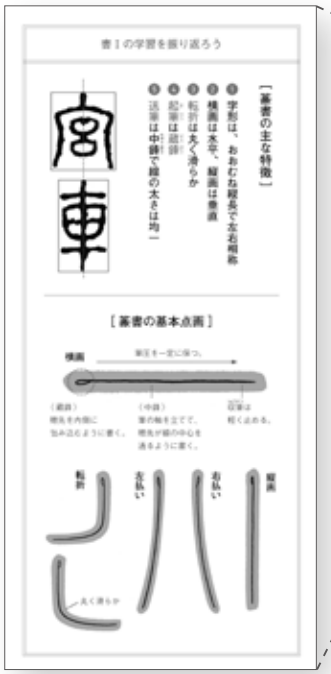
p.14-15「泰山刻石」



「書Ⅰの学習を振り返ろう」の新設

「書道Ⅰ」からの、円滑な接続を図ります。

随所に「書Ⅰの学習を振り返ろう」を新設し、「書道Ⅰ」での学習内容を振り返り、「書道Ⅱ」への円滑な接続を図るとともに、鑑賞・臨書における基礎的な知識を着実に身につけられるよう配慮しました。





p.12-13「篆書を学ぼう」



p.54-55「古筆の特徴」



p.42-43「皇甫誕碑」

特色 2 個性豊かな表現と鑑賞の力を伸ばす

見やすく、学びやすい構成

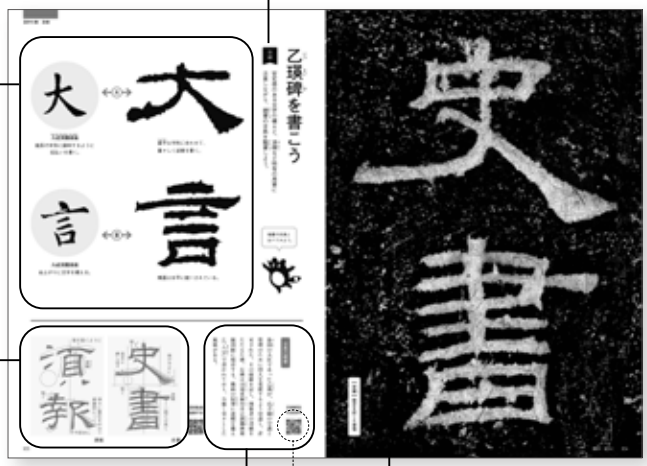
どのような特徴や書風を意識して書くか、ひと目でわかります。

【目標】
古典教材を通して何を学習するのかを、明確に示しました。

【運筆のポイント】
その書の特徴がよく表れている部分を取り上げて、用筆・字形の観点から、古典の特徴を示しました。

【臨書のポイント】
実際の臨書の際に気をつけるポイントを、具体的に示しました。

【古典の概要】
古典の背景やエピソードを端的に記しました。



p.24-25「乙瑛碑」

【二次元コード】

【集字・拡大図版】
鮮明な図版を、裁ち落としで大きく掲載しました。ページを折り返せる中綴じ製本のため、高精細な古典画像を机上に置いて臨書できます。

基本となる古典は4ページ構成とし、前半2ページは古典を見開き・原寸大で掲載、後半2ページは古典の特徴や臨書のポイントを明示して、学習内容の焦点化を図りました。学習指導要領における〔共通事項〕に配慮した構成を実現し、表現と鑑賞の基礎的な能力を着実に身につけることができます。

特色 3 書文化への関心を高める



「MANGA書人伝」の新設

書道史の基礎を楽しく伝えます。

生徒の書道に対する親しみやすさの向上をめざし、書道史上の人物のエピソードを漫画で紹介するコーナー「MANGA書人伝」を新設しました。



p.41「北宋の三大家」





p.9「始皇帝の文字統一」



p.33
「佐理の詫び状」

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 **書Ⅱスタートガイド**		・巻頭に「書Ⅱスタートガイド」を設け、書道Ⅱで何を、どのように学ぶかを示すことで、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう配慮しました。【第二号】 ・「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」、それぞれの表現上の特色や現代の日本の書に至る歴史を取り上げることで、伝統文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】 ・全編を通して男女の平等に配慮し、写真等に学習上の偏りがないように留意しました。【第三号】	表2-p.6
1 漢字の書	**はじめに** 個性豊かな漢字の姿 漢字の書体を比べよう	・甲骨文に始まる漢字の変遷と歴史を示すことで、我が国の伝統と文化および他国の文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】 ・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、篆・隷・草の三書体と楷書を比較し、書体の特徴が理解しやすいように配慮しました。【第一号】	p.7-11
	文字の造形を学ぶ〈篆書〉 篆書を学ぼう 泰山刻石 [コラム]何が書いてある?	・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、篆書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げました。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや古典の概要解説を丁寧に示しました。【第一号】 ・コラムでは、古代から残るさまざまな書を紹介し、人間の営みに欠かせない、書くという行為の目的を考えさせることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。【第三号】	p.12-19
	文字の造形を学ぶ〈隷書〉 隷書を学ぼう 乙瑛碑	・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、隷書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げました。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや古典の概要解説を丁寧に示しました。【第一号】	p.20-25
	文字の造形を学ぶ〈草書〉 十七帖 書譜／自叙帖 [コラム]名品になった詫び状	・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、草書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げました。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや古典の概要解説、部分別の書き方の例を丁寧に示しました。【第一号】 ・コラムでは、名品として名高い藤原佐理の詫び状を取り上げ、草書が日常に根づいていたことを理解することで、幅広い教養を身につけられるよう配慮しました。【第一号】	p.26-33
	文字の造形を学ぶ〈行書〉 集王聖教序 温泉銘 伊都内親王願文 祭姪文稿 [コラム]北宋の三大家と個性の表現	・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、個性豊かなさまざまな行書の古典を教材として取り上げました。【第一号】 ・顔真卿の「祭姪文稿」を取り上げ、そこに込められた作者の思いを想像することで、個人の価値を尊重し、創造性を培えるよう配慮しました。【第二号】	p.34-41
	文字の造形を学ぶ〈楷書〉 皇甫誕碑 始平公造像記 張猛龍碑 孟法師碑 楽毅論	・漢字の書に関する知識が幅広く身につくよう、個性豊かなさまざまな楷書の古典を教材として取り上げました。【第一号】	p.42-47
	創作する 近現代の書を味わおう 〈創作のヒント〉書体 座右の銘を書こう	・創作活動では、座右の銘を題材に取り上げ、豊かな情操や道徳心、健やかな身体の育成につながるよう配慮しました。【第一号】 ・自分の選んだ座右の銘を題材に、伝統的な書式を踏まえながら個性豊かに創作することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培えるよう配慮しました。【第二号】	p.48-52
2 仮名の書	**はじめに** 古筆の特徴	・書道Ⅰで学習した古筆の特徴をまとめることで、仮名の書に関する知識を振り返り、定着を図れるよう工夫しました。【第一号】	p.53-55
	文字の造形を学ぶ 高野切第一種 平仮名・変体仮名	・仮名の書に関する知識が幅広く身につくよう、基本となる古筆教材は、軸装の状態で掲載し、臨場感のある鑑賞ができるよう配慮しました。また、基礎的な知識や技能を丁寧に示しました。【第一号】 ・平仮名と数種の変体仮名を取り上げ、漢字から仮名が成立した過程における先人の創意工夫を知ることにより、伝統文化を尊重しながらも、創造性を培えるよう配慮しました。【第二号】	p.56-61
	構成を学ぶ 継色紙 自然を生かした紙面構成 香紙切 針切	・雁行や藤棚などの自然美を感じさせる古筆を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切にする態度を養えるよう配慮しました。【第四号】 ・自然を生かした紙面構成を教材に設定し、独自の構成美を生み出してきた我が国の文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】	p.62-67
	創作する 〈創作のヒント〉用具・用材 百人一首を書こう	・創作活動の題材として百人一首を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】 ・自分の選んだ百人一首を題材に、伝統的な書式を踏まえながら個性豊かに創作することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培えるよう配慮しました。【第二号】	p.68-70
3 漢字仮名交じりの書	**はじめに** 風景を書で表現する 直筆で名作を味わおう	・心に残った風景を題材とした書を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。【第四号】 ・名作の直筆原稿を取り上げ、独特な美意識に貫かれた手書き文字を鑑賞することで、書が日常に根づいていたことを理解させるとともに、幅広い教養を身につけられるよう配慮しました。【第一号】	p.71-77
	創作する 古典の書風を生かそう 〈創作のヒント〉言葉 思い出を表現しよう ふるさとを表現しよう	・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、郷土をPRするポスターを制作する活動を設定しました。【第五号】	p.78-84

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
4 篆刻・刻字／書道史	篆刻に挑戦する さまざまな書体で見る姓名印 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	・印の歴史を示すことで、日本と中国の文化の関わりについて理解を深め、伝統文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】 ・さまざまな書体で刻された姓名印を取り上げることで、生徒の個性を尊重し、創造性を培えるよう配慮しました。【第二号】 ・姓名印や刻字の表札の創作活動を示すことにより、日常的に見られる印や看板等が書道の分野の一つであることを知り、社会の一員として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。【第三号】	p.85-91
	書道史略年表 書に携わる人	・書道史をわかりやすく整理し、豊富な図版と共に示すことで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮しました。【第一号】 ・書道文化に携わる人を詳しく紹介することで、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、文化の継承を意識できるように配慮しましました。【第二号】【第五号】	p.92-97
巻末折込	**三色紙** **王羲之の書**	・世界各地に収蔵されている王羲之の名品と、仮名の名品である三色紙を集めて掲載することで、伝統文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。【第五号】	p.98-表3

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習上の参考にするための資料

教科書紙面に、「二次元コード」がある教材では、タブレット端末を使って、運筆動画や臨書手本等のさまざまな資料を閲覧することができます。



運筆動画



臨書手本



古典詳細解説



写真資料

二次元コードコンテンツ目次





文房四宝マップ



世界書道マップ

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書をめざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

・特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目でわかる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。



色覚の多様性への配慮

・カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。

編 修 趣 意 書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
107-137	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅱ・038-901	書Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

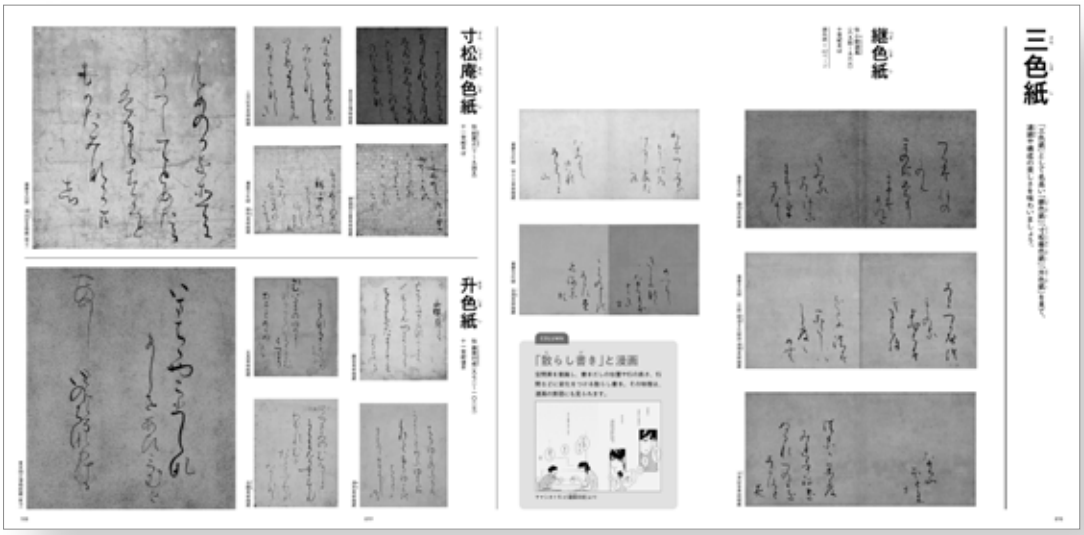


特色 1 圧巻の巻末折込ページ

―― 三色紙、王羲之の書を、一挙に掲載しました。

巻末に、「三色紙」「王羲之の書」を一挙に掲載した折り込み資料を収録しました。比較鑑賞することで、その美を深く味わうことができます。鑑賞のヒントを示し、鑑賞と表現の力を併せて育めるよう、配慮しています。

三色紙
15点



p.98-100「三色紙」



王羲之の書
15点

p.101-表3
「王羲之の書」

特色 2

豊富な古典教材

── 充実のラインナップで、多様な古典に親しむことができます。



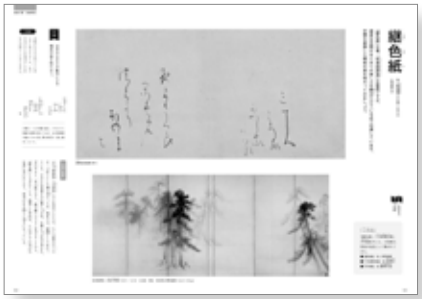
教材の選定のおいては、さまざまな時代・書風の作品を幅広く取り上げ、生徒の視野を広げて表現の多様性を実感できるように配慮しています。古典・古筆は、諸本の中から最良のものを選び、その書に特有の書風や字形・用筆が見られる部分を採用しました。

掲載古典一覧

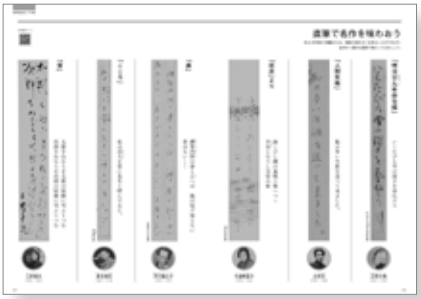
編集上の留意点	書体	主要教材	知識・理解教材および副次的な扱いの教材
漢字の書	篆書	「泰山刻石」	「甲骨文」「大盂鼎」「石鼓文」
	隷書	「乙瑛碑」	「礼器碑」 「里耶秦簡」「萊子侯刻石」「居延漢簡」「曹全碑」
	草書	「十七帖」 「書譜」「自叙帖」	「永元器物簿」 「恩命帖」「離洛帖」 「草書諸上座帖巻」 「行穣帖」「初月帖」「寒切帖」「妹至帖」「大報帖」 「遠宦帖」「淳化閣帖」
	行書	「集王聖教序」 「温泉銘」「伊都内親王願文」 「祭姪文稿」	「蘭亭序」(張金界奴本／神龍半印本)「李柏尺牘稿」 「黄州寒食詩巻」「虹県詩巻」「松風閣詩巻」 「姨母帖」「奉橘帖」「孔侍中帖」「喪乱帖」「興福寺断碑」
	楷書	「皇甫誕碑」 「始平公造像記」「張猛龍碑」 「孟法師碑」「楽毅論」(光明皇后)	「薦季直表」「九成宮醴泉銘」 「楽毅論」(王羲之)「黄庭経」
仮名の書		「高野切第一種」 「継色紙」 「元永本古今和歌集」 「香紙切」「針切」	「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」 「継色紙(5点)」「寸松庵色紙(5点)」「升色紙(5点)」
漢字仮名交じりの書		金子鷗亭 青木香流、松井如流、小林抱牛、東地滄厓、森田安次 正岡子規、太宰治、与謝野晶子、芥川龍之介、夏目漱石、三好達治	



p.30-31「書譜／自叙帖」



p.62-63「継色紙」



p.76-77「直筆で名作を味わおう」

特色 3 充実の「漢字仮名交じりの書」

―― 鑑賞や創作活動を通して、生徒の表現力を着実に育みます。

「漢字仮名交じりの書」では、多彩な書の表現を取り上げることで、生徒が自身の思いや意図を効果的に表現できるよう工夫しています。創作活動は生徒に身近なテーマを設定し、主体的に取り組めるよう配慮しています。



p.82-83「思い出を表現しよう」



p.72-73「風景を書で表現する」



p.80-81「〈創作のヒント〉言葉」

特色 4 二次元コードコンテンツ

―― 学習をサポートする豊富なコンテンツで、生徒の学びを深めます。



教科書紙面に「二次元コード」のある教材では、タブレット端末やスマートフォンを使って、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻 刻字」の各分野の多様なコンテンツを閲覧することができます。

二次元コードコンテンツ目次



臨書手本



古典詳細解説



写真資料



運筆動画



文房四宝マップ



世界書道マップ

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A　表現	B　鑑賞（1）	〔共通事項〕(1)	内容の取扱い	
巻頭 **書Ⅱスタートガイド**		(1) ア [ア] [イ] [ウ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [ウ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	表2-p.6
1漢字の書	**はじめに** 個性豊かな漢字の姿 漢字の書体を比べよう		ア [ア] イ [イ] [ウ] [エ]	ア・イ	(5) (6)	p.7-11
	文字の造形を学ぶ〈篆書〉 篆書を学ぼう 泰山刻石 [コラム]何が書いてある?	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.12-19
	文字の造形を学ぶ〈隷書〉 隷書を学ぼう 乙瑛碑	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.20-25
	文字の造形を学ぶ〈草書〉 十七帖 書譜／自叙帖 [コラム]名品になった詫び状	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.26-33
	文字の造形を学ぶ〈行書〉 集王聖教序 温泉銘 伊都内親王願文 祭姪文稿 [コラム]北宋の三大家と個性の表現	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.34-41
	文字の造形を学ぶ〈楷書〉 皇甫誕碑 始平公造像記 張猛龍碑 孟法師碑 楽毅論	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.42-47
	創作する 近現代の書を味わおう 〈創作のヒント〉書体 座右の銘を書こう	(2) ア [ア] [イ] イ [ア] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.48-52

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A　表現	B　鑑賞（1）	〔共通事項〕(1)	内容の取扱い	
2 仮名の書	**はじめに** 古筆の特徴	(3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.53-55
	文字の造形を学ぶ 高野切第一種 平仮名・変体仮名	(3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.56-61
	構成を学ぶ 継色紙 自然を生かした紙面構成 香紙切 針切	(3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.62-67
	創作する 〈創作のヒント〉用具・用材 百人一首を書こう	(3) ア [ア] [イ] イ [ア] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p68-70
3 漢字仮名交じりの書	**はじめに** 風景を書で表現する 直筆で名作を味わおう	(1) ア [ア] [ウ] イ [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] イ [ア] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.71-77
	創作する 古典の書風を生かそう 〈創作のヒント〉言葉 思い出を表現しよう ふるさとを表現しよう	(1) ア [ア] [イ] [ウ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.78-84
4 篆刻・刻字／書道史	**篆刻に挑戦する** さまざまな書体で見る姓名印 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	(1) ア [ア] [ウ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [エ]	ア・イ	(1) (4) (5) (6)	p.85-91
	書道史略年表 書に携わる人		ア [ア] [イ] イ [イ] [ウ] [エ]	ア・イ	(4) (5) (6)	p.92-97
巻末折込	**三色紙** **王羲之の書**	(1) ア [ア] [イ] [ウ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (2) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ] (3) ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] ウ [ア] [イ]	ア [ア] [イ] イ [ア] [イ] [ウ] [エ]	ア・イ	(1) (2) (3) (5) (6)	p.98-表3